

令和元年11月
日本学術会議選考委員会

日本学術会議会員及び連携会員各位

日本学術会議会員候補者及び連携会員候補者の推薦依頼書

日本学術会議の運営に関する内規第6条に基づき、次のとおり、会員候補者及び連携会員候補者（令和2年10月1日発令）（任期6年）の推薦を求めます。

また、会員及び連携会員は、会員候補者及び連携会員候補者のどちらの候補者も推薦することができます。

1 推薦の対象

会員及び連携会員としてふさわしい「優れた研究又は業績がある科学者」を推薦してください。

⇒今回の推薦・選考の全体像は、別紙1（P4）をご覧ください。

⇒推薦に当たっての留意点は、別紙2（P5）をご覧ください。

また、以下の制限条件がありますので、ご注意ください。

- ① 会員候補者は、6年の任期を務められる者（発令時に64歳未満（昭和31年10月2日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも1期（3年）以上在任できる者（発令時に67歳未満（昭和28年10月2日生まれ以降）の者）を対象とすること。
- ② 会員候補者及び連携会員候補者は、いずれも日本国籍を有する者であること。

なお、現会員及び現連携会員は、別紙3（P7）のとおり自動的に選考の対象となりますので、推薦の必要はありません。ただし、現特任連携会員は、推薦されない限り選考の対象になりません。

2 推薦の方法

幹事会が定める推薦書（別紙4（P9））により、5及び6の方法にしたがって推薦を行ってください。

なお、以下の点にご留意ください。

- ① 推薦書は、「推薦者ご自身が記入していただく項目」と「候補者に依頼して記入していただく項目」（以下「候補者情報項目」という。）に分かれています。
- ② 推薦書は、会員候補者の推薦であっても、連携会員候補者の推薦であっても、共通です。
- ③ 会員候補者又は連携会員候補者のどちらの候補者として推薦するかについては、推薦書に所定の欄がありますので、区分してください。

なお、会員候補者として推薦された者は、同時に連携会員候補者として推薦された者とみなすこととなります。

3 推薦可能人数

1人の会員又は連携会員が推薦できる人数は、会員候補者及び連携会員候補者を合わせて5名までとし、このうち会員候補者は2名までとします。

この場合、幅広く多様な候補者の構成になるよう、新たな領域・学際的な分野、女性研究者、若手研究者※、地方在住者、産業界・実務家の属性に配慮してください。

なお、候補者1名に対し複数の推薦があっても、選考過程において差異はありません。

※就任時に40歳未満の研究者

4 推薦書の入手

推薦書は、次の日本学術会議のホームページからダウンロードしてください。

<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/senko/25senkou.html>

5 推薦書の提出方法及び期間

推薦するすべての候補者の推薦書は、候補者ごとに作成し、各々異なるファイル名を付けてください（詳しくは、別紙4のP 11下段をご覧ください）。

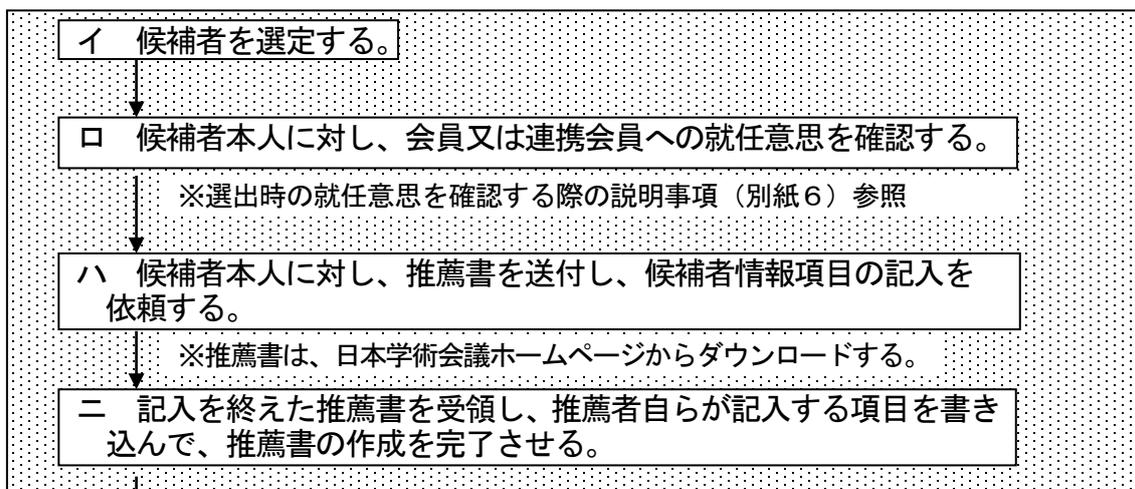
その上で、指定したメール通信サービスを利用して、1月16日（木）から2月3日（月）までに事務局に送信してください。期限を過ぎると利用できなくなりますので、ご注意ください。

なお、上記期間内に送信できなかった場合は、2月7日（金）までに事務局にご連絡ください。

また、パソコンをお持ちでない場合や指定の方法により難しい場合も、事務局にご連絡ください。

⇒推薦書の提出方法は、**別紙5（改定版）**（P 21）をご覧ください。

6 推薦の流れ



ホ 推薦書を事務局に送信する。 **（1月16日（木）から2月3日（月）までの間）**

⇒選出時の就任意思を確認する際の説明事項は、**別紙6**（P 25）をご覧ください。

7 推薦後の選考等の流れ

令和2年2月7日	(最終) 推薦締切
2月～5月	選考委員会・分科会による選考
5月～6月	選考委員会による最終調整等の後、会員候補者名簿及び連携会員候補者名簿を幹事会へ提出
6月～7月	幹事会による審議の後、会員候補者名簿の総会への付議決定及び連携会員候補者の決定
7月	臨時総会による会員候補者の承認
以降	人事上の諸手続
10月1日	発令(予定)

8 個人情報の保護について

提出される推薦書は、個人情報ですので、その取扱いには十分注意してください。
選考委員会としては、個人情報の管理について厳正に取り扱うこととし、候補者推薦に係る情報は、選考実務の遂行、任命手続及び役割検討の目的以外の用途に使用することはありません。

⇒候補者推薦に係る情報の取扱いは、**別紙7** (P 26) をご覧ください。

9 その他

① 今回の改選においても、日本学術会議会則第36条第4項の規定に基づき協力学術研究団体に対し会員又は連携会員の候補者に関する情報提供を、この推薦手続とは別に並行して求めております。

これは、選考委員会における審議の参考情報として用いるものであって、協力学術研究団体から直接推薦を求めるものではありませんので、ご注意ください。

⇒協力学術研究団体からの候補者情報の提供については、**別紙8** (P 27) をご覧ください。

② 候補者の推薦については、「会員候補者及び連携会員候補者の推薦に当たっての質疑応答集」(<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/senko/25senkou.html>)を作成しましたので、ご参考にしてください。

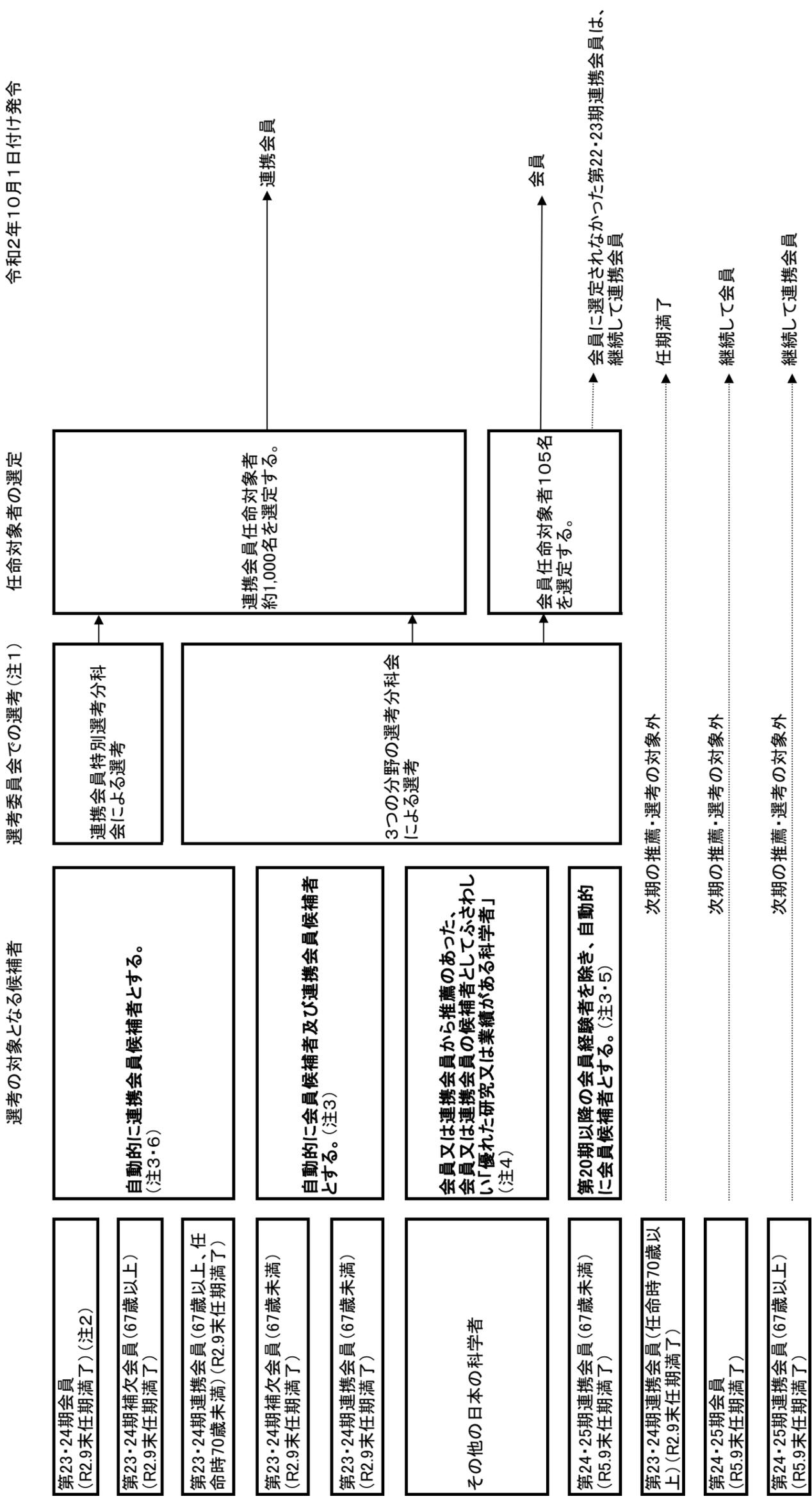
担当：日本学術会議事務局企画課選考担当

電話：03-3403-3793 (代表)
(内線：2121、2122)
03-3403-1081 (直通)

E-mail:

令和2年10月の改選における会員・連携会員候補者の推薦・選考について

別紙1



※ 年齢は、令和2年10月1日現在。任命時70歳未満(70歳以上)とは、第23期に任命された時点の年齢を示す。

- (注1) 協力学術研究団体から提供された情報は、審議の参考情報とする。
 - (注2) 第24期内に定年になる者を除く。(定年又は任期満了により退任する会員の連携会員への就任について(平成18年6月22日幹事会申合せ)による)
 - (注3) 本人に候補者となる意思確認と現在の本人情報を求める。
 - (注4) 推薦書に、会員又は連携会員のどちらの候補者として推薦するかを記入する。
 - (注5) 会員の候補者として推薦された者は、連携会員の候補者としても推薦された者とみなす。
 - (注6) 第20期のみ(任期3年)の会員は会員候補者となる。
 - (注6) 連携会員の再任の回数は2回を限度とする。
- 再任の回数には、会員に任命された場合を連携会員として任命されたものとみなしてこれに含める。

会員候補者及び連携会員候補者の推薦に当たっての留意点

日本学術会議会員候補者及び連携会員候補者の推薦に当たっては、科学者コミュニティの代表として日本学術会議が持つ諸機能並びに会員及び連携会員の使命及び役割を踏まえ、科学者としての見識と判断に基づいて推薦を行ってください。

なお、新たな領域・学際的な分野からの選出や多様な構成員（男女共同参画の推進、若手研究者、地域活性化の視点、産業界・実務家からの選出）になるよう配慮してください。

1 基本的認識

会員及び連携会員は、日本学術会議憲章（平成20年4月8日発出日本学術会議声明）に定める義務と責任を自律的に遵守することが求められている。

<http://www.scj.go.jp/ja/scj/charter.pdf>

2 日本学術会議が持つ諸機能

ア 政府・社会に対する提言

政府や社会に対して、科学者としての専門的、複眼的、俯瞰的かつ信頼性のある勧告・提言等を行うこと。

イ 国際的な活動

地球規模の課題に対して、各国の科学者と連携して、科学的知見に基づく政策提言を戦略的に発出するなど、国際的な学術団体の活動へ積極的に参画貢献し、我が国を代表して科学者の国際協力体制を構築すること。

ウ 科学リテラシーの普及・啓発

日本学術会議会員及び連携会員自らが先頭に立って科学の魅力について語り、国民、特に青少年の科学力増進に寄与すること。

エ 科学者間ネットワークの構築

科学者間交流を推進し、科学者コミュニティ内の連携・協力体制を強化することにより緊密な科学者間ネットワークの構築を図ること。

3 会員及び連携会員の使命及び役割

ア 日本学術会議に期待される諸機能を果たす必要があること。

イ 学術の最新の動向に精通した科学者を中心に、学術に関する優れた研究・業績を有し、かつ日本学術会議の使命と役割を十分理解している必要があること。

ウ 自身の学問領域にかかわらず、総合的・俯瞰的視点に立脚し、かつ学術の将来動向等も含めた幅広い識見によって日本学術会議の委員会審議などの諸活動を積極的に行う必要があること。

4 会員及び連携会員の位置付け

別表のとおり。

会員と連携会員の位置付け

種別 (根拠規定)	役割等	選考・任命等	任期	再任の制限	定年	会員・連携 会員候補 者の推薦	備考 (位置付け)
会員 (法第7条)	日本学術会議(二総会)を組織。(法第7条第1項)部に所屬。(法第11条第4項)幹事会は会長・副会長・各部の役員で構成。(法第14条第2項)会長は会員の互選。(法第8条第2項)副会長は、会員のうちから、総会の同意を得て会長が指名。(法第8条第3項)	会員又は連携会員による推薦その他の情報に基づき、選考委員会が候補者名簿を作成。総会の承認を得て、会員の候補者を内閣総理大臣に推薦。(会則第8条第1項～第3項)内閣総理大臣が任命。(法第7条第2項)特別職の国家公務員(非常勤)	6年 (法第7条第3項) 補欠の会員は前任者の残任期間(法第7条第4項)	再任不可 (法第7条第5項、附則第6条第3項) 補欠の会員は1回に限り再任可(法第7条第5項ただし書)	70歳	会員候補者・連携会員候補者合わせて5人以上、そのうち会員候補者は2人以上(内規第6条第4項)	会員・連携会員合わせて約2,200名の執行役員の位置付けとして日本学術会議の運営に携わる。したがって、総会や部を構成し、運営に関わる事項の審議・決定を行う。(機能別委員会及び分野別委員会の委員長が会員に限られているのもその趣旨による。)
一般の連携会員 (注1) (法第15条、 令第1条第1項、 会則第7条第2 項)	会員と連携して日本学術会議の職務の一部を行う。(法第15条第1項)委員会及び分科会等を組織。(法第15条の2)【機能別及び分野別委員会の委員長になることはできない。(細則別表第2及び内規第10条)】	会員又は連携会員による推薦その他の情報に基づき、選考委員会が候補者名簿を作成。幹事会が候補者を決定。(会則第8条第1項、第2項、第4項)会長が任命。(法第15条第2項)一般職の国家公務員(非常勤)	6年 (令第1条第1項) 6年未満の必要な期間を定めることも可 (会則第7条第2項)	2回まで再任可 (任命時点で70歳以上は、当該任期限り) (会則第12条第1項)	—	会員候補者・連携会員候補者合わせて5人以上、そのうち会員候補者は2人以上(内規第6条第4項)	委員会及びその分科会等の委員として、また、国際活動において、会員と連携し一体となって活動を行う。
特任の連携会員 (注1) (法第15条、 令第1条第1項、 会則第7条第1 項)	国際業務又は委員会(機能別委員会本体を除く。)の特定の専門的事項の審議に参画。【国際学術団体の役員の任期中、課題別委員会の設置期間、又は常置の委員会(注2)及びその分科会等では特定の専門的事項の審議が行われている期間、必要な期間任命】(会則第7条第1項)	委員会の委員に委嘱すべき者を特任の連携会員候補者として、別に定めのある場合を除き、原則として各部分が幹事会に推薦。幹事会が候補者を決定。(会則第8条第5項)会長が任命。(法第15条第2項)	3年以下 (会則第7条第1項)	再任の制限なし (会則第12条第3項)	—	なし (会則第8条第1項)	会員及び一般の連携会員のみで担うことの困難な専門的事項の審議や国際活動に専門委員的に参画するため、必要な任期に限り任命される。

(注1)「一般の連携会員」、「特任の連携会員」等の名称は便宜上のもの。
(注2)「常置の委員会」とは、機能別委員会及び分野別委員会を指す。なお、この他に、課題別委員会等を総称して「臨時の委員会」と呼んでいる。

推薦・選考に当たっての現会員及び現連携会員の扱い

現会員及び現連携会員は、今回の推薦・選考に当たっては、次のとおり取り扱うこととしており、今回の推薦の対象からは外れております。

1. 第23・24期会員（令和2年9月末任期満了となる会員）

「定年又は任期満了により退任する会員の連携会員への就任について」（平成18年6月22日第18回幹事会申合せ）により、自動的に連携会員の候補者の選考の対象者となりますので、別途、就任意思の確認及び現在の本人情報（推薦書の記載項目のうち候補者情報に係る項目とする。以下同じ。）を求めることとなります。

※会員への再任は不可。

ただし、補欠の会員は1回に限り再任されることができるので、年齢により、次期の会員又は連携会員の候補者の選考対象となる。会員候補者は、6年の任期を務められる者（発令時に64歳未満（昭和31年10月2日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも1期（3年）以上在任できる者（発令時に67歳未満（昭和28年10月2日生まれ以降）の者）を対象とする。

※連携会員への再任は2回まで可。再任の回数には会員に任命された場合も含む。

2. 第24・25期会員（令和5年9月末任期満了となる会員）

会員としてそのまま令和5年9月末まで継続することとなります。

3. 第23・24期連携会員（令和2年9月末任期満了となる連携会員）

選考委員会での取扱いにより、自動的に会員及び連携会員の候補者の選考の対象者となりますので、別途、就任意思の確認及び現在の本人情報を求めることとなります。

なお、会員及び連携会員に選出されなかった場合は、令和2年9月末をもって任期満了となります。

※会員候補者は、6年の任期を務められる者（発令時に64歳未満（昭和31年10月2日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも1期（3年）以上在任できる者（発令時に67歳未満（昭和28年10月2日生まれ以降）の者）を対象とする。

※連携会員への再任は2回まで可。

ただし、最初の任命時点で70歳以上であった者は今期限り。

4. 第24・25期連携会員（令和5年9月末任期満了となる連携会員）

第20期以降の会員経験者を除き、選考委員会での取扱いにより、自動的に会員候補者の選考の対象者となりますので、別途、就任意思の確認及び現在の本人情報を求めることとなります。

なお、会員に選出されなかった場合は、連携会員としてそのまま令和5年9月末まで継続することとなります。

※会員候補者は、6年の任期を務められる者（発令時に64歳未満（昭和31年10月2日生まれ以降）の者）が望ましいが、原則として、少なくとも1期（3年）以上在任できる者（発令時に67歳未満（昭和28年10月2日生まれ以降）の者）を対象とする。

※日本学術会議法第7条第5項において、「会員は、再任されることができない」と規定されていることから、第20期以降の会員経験者は、会員候補者となることができない。但し、第20期のみ（任期3年）の会員経験者は会員候補者となります。

1. 推薦者が記入する項目

… 必須入力項目です
 … 任意入力項目です

あなた(推薦者)の氏名

候補者が所属するのに適切と考える分野別委員会
 ※ドロップダウンリストから選択してください。

委員会が適切である

候補者が取り組んでいる「新たな領域・学際的な分野」
 ※追加があれば記入してください。

例：環境学、地理学、科学技術社会（政策）論、技術経営（MOT）、
 生命倫理、科学哲学、科学者倫理（行動規範）、学術経営、
 学術と社会との関係（接点）を専門とする分野や新たな領域など

候補者の推薦区分 ※[会員][連携会員] から選択してください。

に推薦する

推薦理由 ※ 全角500文字以内で記入してください。この枠いっぱいではぼ500文字です。 (参考) 現在、約 0 文字です。

2. 候補者が記入する項目

… 必須入力項目です
 … どれかひとつは入力してください

< 姓 > < 名 >

氏名:

性別: ※[男][女]から選択してください。

ふりがな: ※全角ひらがな

生年月日: 就任時 歳 (自動計算)

半角で、西暦4桁/月/日 形式で入力してください。

戸籍名:

ふりがな: ※全角ひらがな

※通常使用している氏名と戸籍名が異なる場合のみ記入してください。 <姓><名>のどちらかが異なる場合でも、<姓><名>の両方を入力してください。

候補者の日本学術会議での現職/非現職区分

である

勤務先名:

勤務先での職名:

< 自宅 >

郵便番号: ※ハイフン区切り半角数字

都道府県:

所在地 (市区町村以下):

建物等名:

電話番号: ※ハイフン区切り半角数字

FAX番号: ※ハイフン区切り半角数字

E-mail:

< 勤務先 > ※特定の勤務先がない場合は、自宅住所を記入してください。

郵便番号: ※ハイフン区切り半角数字

都道府県:

所在地 (市区町村以下):

建物等名:

電話番号: ※ハイフン区切り半角数字

内線番号:

FAX番号: ※ハイフン区切り半角数字

E-mail:

※自宅又は勤務先の「電話番号」「FAX番号」「E-mail」のうち、確実に連絡が取れるものを選んで入力してください。

優先する連絡先: に連絡する ※[自宅][勤務先]から選択してください。

< 主要な学歴および学位を3件以内で記入してください >

	年	月	学歴・学位の内容
学歴・学位 1 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
学歴・学位 2 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
学歴・学位 3 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁（半角数字） ※1~12の半角数字

< 主要な職歴を現職から順に遡って7件以内で記入してください >

	年	月	職歴の内容
職歴 1 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 2 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 3 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 4 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 5 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 6 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
職歴 7 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁（半角数字） ※1~12の半角数字

現職名・名簿記載職名:

※こちらに記入した内容が、名簿記載上の職名になります。

< 専門分野（[科学研究費助成事業（科研費）]の審査区分表の中から相当する小区分名）を3件以内で入力してください >
(小区分名は「科研費審査区分表」シート参照)

※科研費を受け取っていない場合でも、該当すると思われる専門分野を入力してください。

	<小区分名>	<小区分の説明>	
専門分野(科研費審査区分) 1 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は<小区分名>が誤りです。
専門分野(科研費審査区分) 2 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は<小区分名>が誤りです。
専門分野(科研費審査区分) 3 :	<input type="text"/>	<input type="text"/>	※ #N/A と表示された場合は<小区分名>が誤りです。

< 主要な研究内容を3件以内で記入してください >

研究内容 1 :	<input type="text"/>
研究内容 2 :	<input type="text"/>
研究内容 3 :	<input type="text"/>

< 所属している国内の学会の名前を3件以内で記入してください >

国内所属学会名 1 :	<input type="text"/>
国内所属学会名 2 :	<input type="text"/>
国内所属学会名 3 :	<input type="text"/>

< 所属している海外の学会の名前を3件以内で記入してください >

国際所属学会名 1 :	<input type="text"/>
国際所属学会名 2 :	<input type="text"/>
国際所属学会名 3 :	<input type="text"/>

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績1: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績2: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

< 主要な受賞歴を3件以内で記入してください >

	受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴1:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受賞歴2:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
受賞歴3:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁 (半角数字)

★候補者は、入力漏れなどが無い内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課選考担当まで送付してください。

注1) ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。 【例】 25senkou (日学太郎)

注2) 複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。 【例】 25senkou (日学太郎) 1
25senkou (日学太郎) 2

< 主要な学術論文、著書、特許等の学術的業績を5件以内で記入してください >

業績1: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名:	J. Nogizaka and T. Yamada
論文標題:	〇〇〇
雑誌名、巻号、ページ又は 会議名、開催場所等:	Journal of 〇〇, Vol. 135, No. 12, 1491 -1495
発行年又は会議開催年:	<input type="text" value="20xx"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績2: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名:	乃木坂次郎
書名:	〇〇〇
出版社:	〇〇出版社
発行年:	<input type="text" value="19xx"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績3: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

発明者名:	乃木坂次郎
産業財産権の名称:	〇〇に関する発明
産業財産権の種類、番号:	特許第211****号
取得年:	<input type="text" value="19xx"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績4: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は 産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は 会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

業績5: ※[学術論文][著書][産業財産権]から選択してください。

▼ 項目名は上記の選択に応じて変化します。

著者名又は発明者名:	<input type="text"/>
標題、書名又は 産業財産権の名称:	<input type="text"/>
雑誌名、出版社又は 会議名、開催場所等:	<input type="text"/>
発行年、開催年又は取得年:	<input type="text"/> ※西暦4桁 (半角数字)

< 主要な受賞歴を3件以内で記入してください >

受賞年	賞名	授賞機関
受賞歴1: <input type="text" value="20xx"/>	<input type="text" value="〇〇〇〇"/>	<input type="text" value="〇〇財団"/>
受賞歴2: <input type="text" value="19xx"/>	<input type="text" value="●●●●"/>	<input type="text" value="●●財団"/>
受賞歴3: <input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※西暦4桁 (半角数字)

★候補者は、入力漏れなどが無い内容をご確認の上、このファイルを保存して、推薦者に返送してください。

★推薦者は、候補者から返送されたファイルをご確認の上、日本学術会議事務局企画課選考担当まで送付してください。

注1) ファイル名は、推薦者がわかるように推薦者の「氏名」を表示してください。 【例】 25senkou (日学太郎)

注2) 複数のファイルを同時に送付される場合は、異なるファイル名にしてください。 【例】 25senkou (日学太郎) 1
25senkou (日学太郎) 2

審査区分表（総表）

5桁の番号を「小区分名」欄に記載してください。

大区分 A	
中区分1：思想、芸術およびその関連分野	
小区分	
01010	哲学および倫理学関連
01020	中国哲学、印度哲学および仏教学関連
01030	宗教学関連
01040	思想史関連
01050	美学および芸術論関連
01060	美術史関連
01070	芸術実践論関連
01080	科学社会学および科学技術史関連
90010	デザイン学関連
中区分2：文学、言語学およびその関連分野	
小区分	
02010	日本文学関連
02020	中国文学関連
02030	英文学および英語圏文学関連
02040	ヨーロッパ文学関連
02050	文学一般関連
02060	言語学関連
02070	日本語学関連
02080	英語学関連
02090	日本語教育関連
02100	外国語教育関連
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連
中区分3：歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	
小区分	
03010	史学一般関連
03020	日本史関連
03030	アジア史およびアフリカ史関連
03040	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連
03050	考古学関連
03060	文化財科学関連
03070	博物館学関連
中区分4：地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	
小区分	
04010	地理学関連
04020	人文地理学関連
04030	文化人類学および民俗学関連
80010	地域研究関連
80020	観光学関連
80030	ジェンダー関連
中区分5：法学およびその関連分野	
小区分	
05010	基礎法学関連
05020	公法学関連
05030	国際法学関連
05040	社会法学関連
05050	刑事法学関連
05060	民事法学関連
05070	新領域法学関連

大区分 A（続き）	
中区分6：政治学およびその関連分野	
小区分	
06010	政治学関連
06020	国際関係論関連
80010	地域研究関連
80030	ジェンダー関連
中区分7：経済学、経営学およびその関連分野	
小区分	
07010	理論経済学関連
07020	経済学説および経済思想関連
07030	経済統計関連
07040	経済政策関連
07050	公共経済および労働経済関連
07060	金融およびファイナンス関連
07070	経済史関連
07080	経営学関連
07090	商学関連
07100	会計学関連
80020	観光学関連
中区分8：社会学およびその関連分野	
小区分	
08010	社会学関連
08020	社会福祉学関連
08030	家政学および生活科学関連
80020	観光学関連
80030	ジェンダー関連
中区分9：教育学およびその関連分野	
小区分	
09010	教育学関連
09020	教育社会学関連
09030	子ども学および保育学関連
09040	教科教育学および初等中等教育学関連
09050	高等教育学関連
09060	特別支援教育関連
09070	教育工学関連
09080	科学教育関連
02090	日本語教育関連
02100	外国語教育関連
中区分10：心理学およびその関連分野	
小区分	
10010	社会心理学関連
10020	教育心理学関連
10030	臨床心理学関連
10040	実験心理学関連
90030	認知科学関連

大区分B	
中区分11：代数学、幾何学およびその関連分野	
小区分	
11010	代数学関連
11020	幾何学関連
中区分12：解析学、応用数学およびその関連分野	
小区分	
12010	基礎解析学関連
12020	数理解析学関連
12030	数学基礎関連
12040	応用数学および統計数学関連
中区分13：物性物理学およびその関連分野	
小区分	
13010	数理物理および物性基礎関連
13020	半導体、光物性および原子物理関連
13030	磁性、超伝導および強相関係数関連
13040	生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連
中区分14：プラズマ学およびその関連分野	
小区分	
14010	プラズマ科学関連
14020	核融合学関連
14030	プラズマ応用科学関連
80040	量子ビーム科学関連
中区分15：素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野	
小区分	
80040	量子ビーム科学関連
15010	素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論
15020	素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験
中区分16：天文学およびその関連分野	
小区分	
16010	天文学関連
中区分17：地球惑星科学およびその関連分野	
小区分	
17010	宇宙惑星科学関連
17020	大気水圏科学関連
17030	地球人間圏科学関連
17040	固体地球科学関連
17050	地球生命科学関連

大区分C	
中区分18：材料力学、生産工学、設計工学およびその関連分野	
小区分	
18010	材料力学および機械材料関連
18020	加工学および生産工学関連
18030	設計工学関連
18040	機械要素およびトライボロジー関連
中区分19：流体工学、熱工学およびその関連分野	
小区分	
19010	流体工学関連
19020	熱工学関連
中区分20：機械力学、ロボティクスおよびその関連分野	
小区分	
20010	機械力学およびメカトロニクス関連
20020	ロボティクスおよび知能機械システム関連
中区分21：電気電子工学およびその関連分野	
小区分	
21010	電力工学関連
21020	通信工学関連
21030	計測工学関連
21040	制御およびシステム工学関連
21050	電気電子材料工学関連
21060	電子デバイスおよび電子機器関連
中区分22：土木工学およびその関連分野	
小区分	
22010	土木材料、施工および建設マネジメント関連
22020	構造工学および地震工学関連
22030	地盤工学関連
22040	水工学関連
22050	土木計画学および交通工学関連
22060	土木環境システム関連
中区分23：建築学およびその関連分野	
小区分	
23010	建築構造および材料関連
23020	建築環境および建築設備関連
23030	建築計画および都市計画関連
23040	建築史および意匠関連
90010	デザイン学関連
中区分24：航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	
小区分	
24010	航空宇宙工学関連
24020	船舶海洋工学関連
中区分25：社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	
小区分	
25010	社会システム工学関連
25020	安全工学関連
25030	防災工学関連

大区分D	
中区分26：材料工学およびその関連分野	
小区分	
26010	金属材料物性関連
26020	無機材料および物性関連
26030	複合材料および界面関連
26040	構造材料および機能材料関連
26050	材料加工および組織制御関連
26060	金属生産および資源生産関連
中区分27：化学工学およびその関連分野	
小区分	
27010	移動現象および単位操作関連
27020	反応工学およびプロセスシステム工学関連
27030	触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連
27040	バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連
中区分28：ナノマイクロ科学およびその関連分野	
小区分	
28010	ナノ構造化学関連
28020	ナノ構造物理関連
28030	ナノ材料科学関連
28040	ナノバイオサイエンス関連
28050	ナノマイクロシステム関連
中区分29：応用物理物性およびその関連分野	
小区分	
29010	応用物性関連
29020	薄膜および表面界面物性関連
29030	応用物理一般関連
中区分30：応用物理工学およびその関連分野	
小区分	
30010	結晶工学関連
30020	光工学および光量子科学関連
中区分31：原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	
小区分	
31010	原子力工学関連
31020	地球資源工学およびエネルギー学関連
中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	
90110	生体医工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連

大区分E	
中区分32：物理化学、機能物性化学およびその関連分野	
小区分	
32010	基礎物理化学関連
32020	機能物性化学関連
中区分33：有機化学およびその関連分野	
小区分	
33010	構造有機化学および物理有機化学関連
33020	有機合成化学関連
中区分34：無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	
小区分	
34010	無機・錯体化学関連
34020	分析化学関連
34030	グリーンサステイナブルケミストリーおよび環境化学関連
中区分35：高分子、有機材料およびその関連分野	
小区分	
35010	高分子化学関連
35020	高分子材料関連
35030	有機機能材料関連
中区分36：無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	
小区分	
36010	無機物質および無機材料化学関連
36020	エネルギー関連化学
中区分37：生体分子化学およびその関連分野	
小区分	
37010	生体関連化学
37020	生物分子化学関連
37030	ケミカルバイオロジー関連

大区分 F	
中区分38：農芸化学およびその関連分野	
小区分	
38010	植物栄養学および土壌学関連
38020	応用微生物学関連
38030	応用生物化学関連
38040	生物有機化学関連
38050	食品科学関連
38060	応用分子細胞生物学関連
中区分39：生産環境農学およびその関連分野	
小区分	
39010	遺伝育種科学関連
39020	作物生産科学関連
39030	園芸科学関連
39040	植物保護科学関連
39050	昆虫科学関連
39060	生物資源保全学関連
39070	ランドスケープ科学関連
中区分40：森林圏科学、水圏応用科学およびその関連分野	
小区分	
40010	森林科学関連
40020	木質科学関連
40030	水圏生産科学関連
40040	水圏生命科学関連
中区分41：社会経済農学、農業工学およびその関連分野	
小区分	
41010	食料農業経済関連
41020	農業社会構造関連
41030	地域環境工学および農村計画学関連
41040	農業環境工学および農業情報工学関連
41050	環境農学関連
中区分42：獣医学、畜産学およびその関連分野	
小区分	
42010	動物生産科学関連
42020	獣医学関連
42030	動物生命科学関連
42040	実験動物学関連

大区分 G	
中区分43：分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野	
小区分	
43010	分子生物学関連
43020	構造生物化学関連
43030	機能生物化学関連
43040	生物物理学関連
43050	ゲノム生物学関連
43060	システムゲノム科学関連
中区分44：細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野	
小区分	
44010	細胞生物学関連
44020	発生生物学関連
44030	植物分子および生理科学関連
44040	形態および構造関連
44050	動物生理化学、生理学および行動学関連
中区分45：個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野	
小区分	
45010	遺伝学関連
45020	進化生物学関連
45030	多様性生物学および分類学関連
45040	生態学および環境学関連
45050	自然人類学関連
45060	応用人類学関連
中区分46：神経科学およびその関連分野	
小区分	
46010	神経科学一般関連
46020	神経形態学関連
46030	神経機能学関連

大区分 H	
中区分47：薬学およびその関連分野	
小区分	
47010	薬系化学および創薬科学関連
47020	薬系分析および物理化学関連
47030	薬系衛生および生物化学関連
47040	薬理学関連
47050	環境および天然医薬資源学関連
47060	医療薬学関連
中区分48：生体の構造と機能およびその関連分野	
小区分	
48010	解剖学関連
48020	生理学関連
48030	薬理学関連
48040	医化学関連
中区分49：病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野	
小区分	
49010	病態医化学関連
49020	人体病理学関連
49030	実験病理学関連
49040	寄生虫学関連
49050	細菌学関連
49060	ウイルス学関連
49070	免疫学関連

大区分 I	
中区分50：腫瘍学およびその関連分野	
小区分	
50010	腫瘍生物学関連
50020	腫瘍診断および治療学関連
中区分51：ブレインサイエンスおよびその関連分野	
小区分	
51010	基盤脳科学関連
51020	認知脳科学関連
51030	病態神経科学関連
中区分52：内科学一般およびその関連分野	
小区分	
52010	内科学一般関連
52020	神経内科学関連
52030	精神神経科学関連
52040	放射線科学関連
52050	胎児医学および小児成育学関連
中区分53：器官システム内科学およびその関連分野	
小区分	
53010	消化器内科学関連
53020	循環器内科学関連
53030	呼吸器内科学関連
53040	腎臓内科学関連
53050	皮膚科学関連
中区分54：生体情報内科学およびその関連分野	
小区分	
54010	血液および腫瘍内科学関連
54020	膠原病およびアレルギー内科学関連
54030	感染症内科学関連
54040	代謝および内分泌学関連
中区分55：恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	
小区分	
55010	外科学一般および小児外科学関連
55020	消化器外科学関連
55030	心臓血管外科学関連
55040	呼吸器外科学関連
55050	麻酔科学関連
55060	救急医学関連
中区分56：生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野	
小区分	
56010	脳神経外科学関連
56020	整形外科関連
56030	泌尿器科学関連
56040	産婦人科学関連
56050	耳鼻咽喉科学関連
56060	眼科学関連
56070	形成外科学関連

大区分 I (続き)	
中区分57：口腔科学およびその関連分野	
小区分	
57010	常態系口腔科学関連
57020	病態系口腔科学関連
57030	保存治療系歯学関連
57040	口腔再生医学および歯科医用工学関連
57050	補綴系歯学関連
57060	外科系歯学関連
57070	成長および発育系歯学関連
57080	社会系歯学関連
中区分58：社会医学、看護学およびその関連分野	
小区分	
58010	医療管理学および医療系社会学関連
58020	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む
58030	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない
58040	法医学関連
58050	基礎看護学関連
58060	臨床看護学関連
58070	生涯発達看護学関連
58080	高齢者看護学および地域看護学関連
中区分59：スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野	
小区分	
59010	リハビリテーション科学関連
59020	スポーツ科学関連
59030	体育および身体教育学関連
59040	栄養学および健康科学関連
中区分90：人間医工学およびその関連分野	
小区分	
90110	生体医工学関連
90120	生体材料学関連
90130	医用システム関連
90140	医療技術評価学関連
90150	医療福祉工学関連

大区分 J	
中区分60：情報科学、情報工学およびその関連分野	
小区分	
60010	情報学基礎論関連
60020	数理情報学関連
60030	統計科学関連
60040	計算機システム関連
60050	ソフトウェア関連
60060	情報ネットワーク関連
60070	情報セキュリティ関連
60080	データベース関連
60090	高性能計算関連
60100	計算科学関連
中区分61：人間情報学およびその関連分野	
小区分	
61010	知覚情報処理関連
61020	ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連
61030	知能情報学関連
61040	ソフトコンピューティング関連
61050	知能ロボティクス関連
61060	感性情報学関連
90010	デザイン学関連
90030	認知科学関連
中区分62：応用情報学およびその関連分野	
小区分	
62010	生命、健康および医療情報学関連
62020	ウェブ情報学およびサービス情報学関連
62030	学習支援システム関連
62040	エンタテインメントおよびゲーム情報学関連
90020	図書館情報学および人文社会情報学関連

大区分 K	
中区分63：環境解析評価およびその関連分野	
小区分	
63010	環境動態解析関連
63020	放射線影響関連
63030	化学物質影響関連
63040	環境影響評価関連
中区分64：環境保全対策およびその関連分野	
小区分	
64010	環境負荷およびリスク評価管理関連
64020	環境負荷低減技術および保全修復技術関連
64030	環境材料およびリサイクル技術関連
64040	自然共生システム関連
64050	循環型社会システム関連
64060	環境政策および環境配慮型社会関連

第25-26期会員・連携会員候補者の推薦書の提出方法

令和元年11月
日本学術会議事務局

推薦書の提出は、メール通信サービスを利用して行います。

日本学術会議事務局からメールを受信したら、メールの内容にしたがって操作し、期限までに推薦書を提出してください。

推薦書は、添付ファイルもしくは日本学術会議ホームページ（選考委員会のページ*）からダウンロードし、あらかじめ作成しておいてください。

* <http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/senko/25senkou.html>

推薦書提出の流れ



(注) SSLによるデータ暗号化・ウイルスチェック機能付き

- (1) 令和2年1月16日(木)頃に、日本学術会議事務局からメールを送信。
- (2) 指定のパスワードを使ってログインする。
- (3) 令和2年2月3日(月)までに、推薦書(Excelファイル)をアップロード(送信)する。
- (4) 日本学術会議事務局で推薦書を確認後、受領した旨のメールを送信。
(手順は次ページ以下をご覧ください)

※アップロードに不具合がある場合、事務局までご連絡ください。

【主な変更点】

○推薦書の提出期間

令和2年1月30日(木)から2月3日(月)まで



令和2年1月16日(木)から2月3日(月)まで

※事務局からメールが届き次第、提出可能です。

(お問合せ先)

日本学術会議事務局企画課選考担当

TEL : 03-3403-3793 (代表)

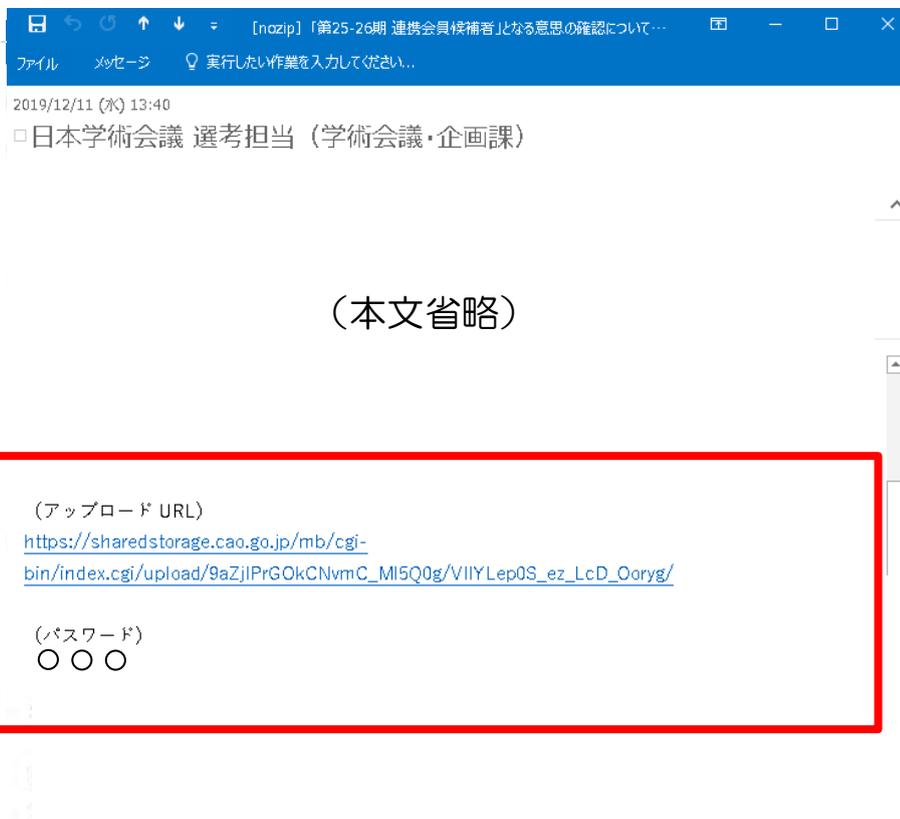
(内線2121、2122)

03-3403-1081 (直通)

E-mail :

アップロード（ファイル送付）の手順

- ①メール本文の《アップロード URL》をクリックして、FileZen のWeb サイトにアクセスします。



- ②「FileZen」にアクセスします。
メールに記載されているパスワードを入力して、《送信》をクリックします。



③送付するファイルを選択します。

《参照》をクリックし、送付するファイルを選択して《開く》をクリックします。



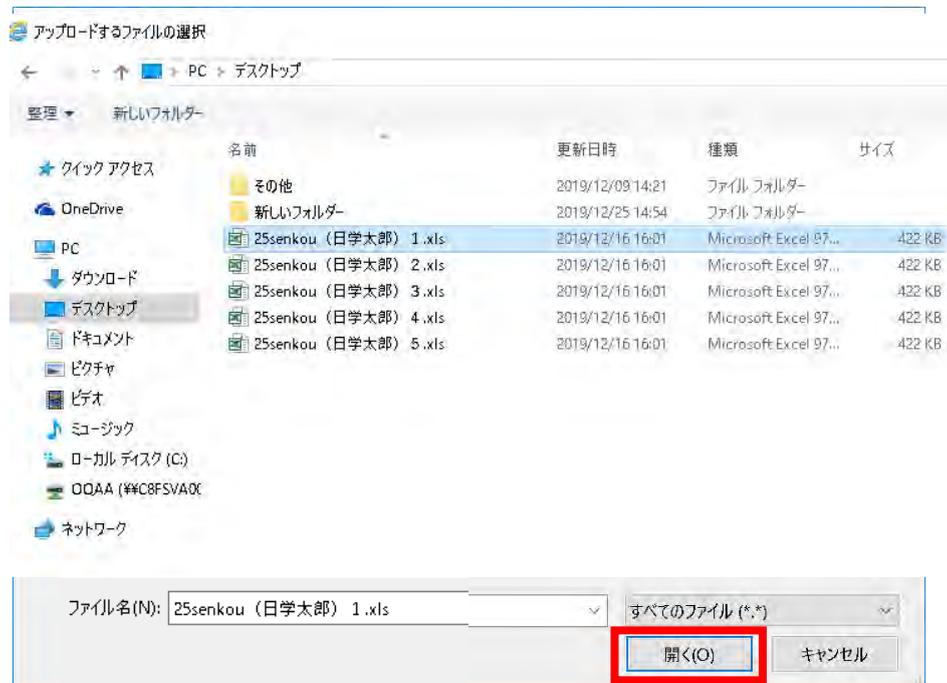
FileZenへようこそ

ファイルをアップロードするためには、ファイルを選択して<送信>ボタンをクリックしてください。

	参照...

※ アップロードできるファイルの拡張子

mp3 wav wma wmv mp4 m4v mpg doc docx docm xls xlsx xlsx xlam mdb accdb ppt pptx pptm jtd jtt jtdc jtcc zip pdf vdx vsdx jpg bmp gif png



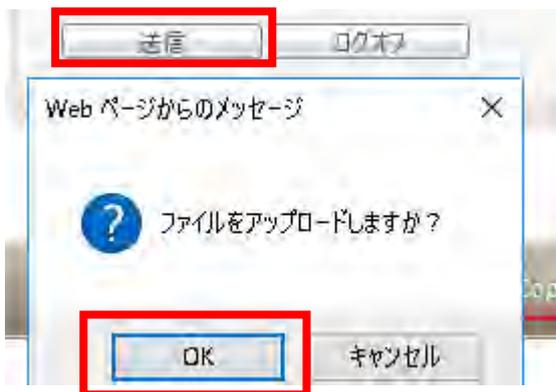
FileZenへようこそ

ファイルをアップロードするためには、ファイルを選択して<送信>ボタンをクリックしてください。

C:\Users\CO0: \Desktop\25senkou (日学太郎) 1.xls	参照...
C:\Users\CO0: \Desktop\25senkou (日学太郎) 2.xls	参照...
C:\Users\CO0: \Desktop\25senkou (日学太郎) 3.xls	参照...
C:\Users\CO0: \Desktop\25senkou (日学太郎) 4.xls	参照...
C:\Users\CO0: \Desktop\25senkou (日学太郎) 5.xls	参照...

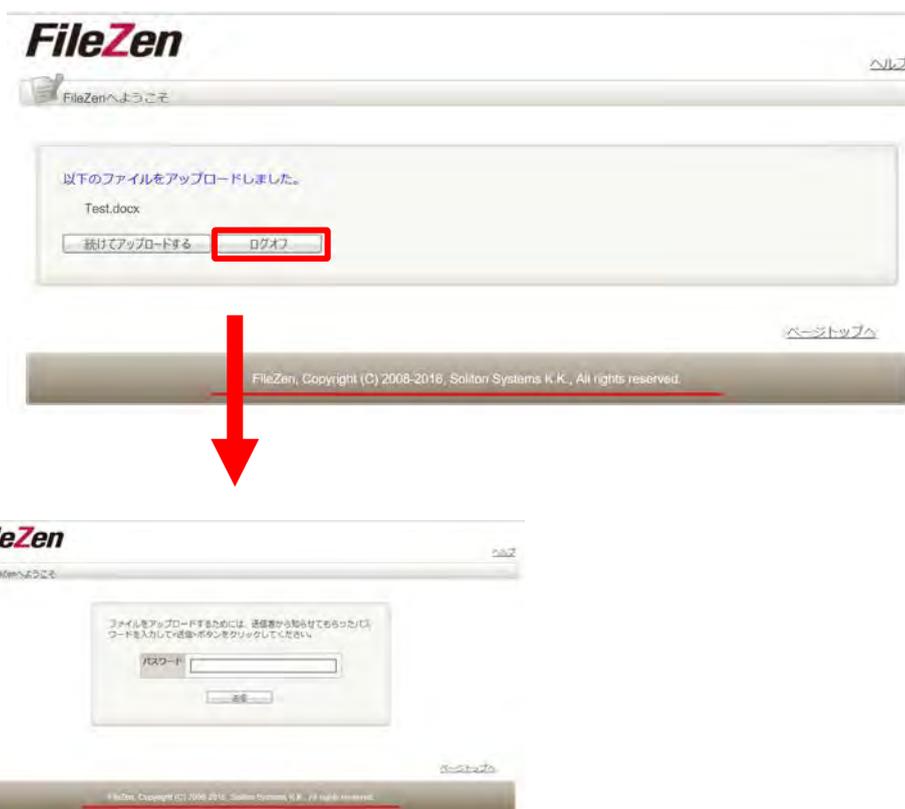
④ 《送信》をクリックします。

アップロード確認画面が表示されるので、《OK》をクリックします。



⑤ アップロード完了画面が表示されます。

《ログオフ》をクリックして終了してください。[FileZen へようこそ] 画面に戻ります。



※日本学術会議事務局で推薦書を確認後、受領した旨のメールを送信します。

選出時の就任意思を確認する際の説明事項

- 1 推薦者は、候補者に対して、以下の①から⑤までをご説明ください。
 - ① 推薦された者が必ずしも会員又は連携会員に選出されるものではないこと。
 - ② 日本学術会議の活動並びに会員及び連携会員の使命・役割及び位置付け
※日本学術会議ホームページ並びに本推薦依頼書の別紙 2 及び別紙 2 一別表等を参照しながら説明してください。
 - ③ 活動期間
令和 2 年 1 0 月 1 日から令和 8 年 9 月 3 0 日まで（任期 6 年）とし、任期中は、関係する委員会・分科会や地区会議等に所属し、審議活動や国際活動等を行うことになること。
ただし、会員は 7 0 歳に達すると、自動的に退任となること。
 - ④ 会員候補者として推薦された者は、連携会員候補者としても推薦されたものとみなすことになること。
 - ⑤ 候補者推薦に係る情報は、選考実務の遂行、任命手続及び役割検討の目的のために使用することになること。
- 2 上記の説明内容を候補者に理解していただいた上で、選出された場合には就任する旨の意思の確認を行っていただき、推薦書の「2. 候補者が記入する項目」への記入をお願いしてください。

個人情報の取扱いについて

令和 2 年 1 0 月改選の会員及び連携会員の候補者の選考実務を行うに当たり、候補者の個人情報の取扱いに十分注意して、以下のような情報セキュリティ対策を講じるものとする。

記

1. 情報の目的外利用の禁止

会員及び連携会員（以下「会員等」という。）は、選考実務の遂行以外の目的で、候補者に係る情報（以下「情報」という。）を作成、入手、公表又は提供してはならない。

2. 情報の利用

会員等は、選考実務の遂行、任命手続及び役割検討以外の目的で、情報を利用してはならない。

3. 情報の保存

- ① 会員等は、電磁的記録媒体に保存された情報について、適切なアクセス制御を行わなければならない。
- ② 会員等は、情報が保存された電磁的記録媒体を適切に管理しなければならない。
- ③ 会員等は、出力した情報を記載した書面を適切に管理しなければならない。

4. 情報の移送

- ① 会員等は、候補者との間で情報を移送する場合は、適切なセキュリティ対策を講じなければならない。
- ② 会員等は、日本学術会議事務局に推薦書を提出する際は、情報が漏えいすることがないように十分注意しなければならない。

5. 情報の消去

会員等は、2 で掲げる場合を除き、令和 2 年 1 0 月改選後、速やかに情報を消去しなければならない。

協力学術研究団体からの候補者情報の提供について

令和 2 年 1 0 月の日本学術会議会員及び連携会員の改選においては、日本学術会議会則第 3 6 条第 4 項の規定に基づき、協力学術研究団体に対し、会員又は連携会員の候補者に関する情報提供を求めることとする。その際、下記の事項を踏まえるものとする。

これは、選考委員会における審議の参考情報として用いるものであって、協力学術研究団体から直接推薦を求めるものではない。

記

1 当該情報の活用方法

協力学術研究団体から提供を受けた情報は、選考委員会限りとし、候補者の名簿を作成するための「その他の情報」（会則第 8 条第 2 項）として取り扱う。

2 候補者情報の区分

日本学術会議の会員及び連携会員としてふさわしい「優れた研究又は業績がある科学者」の情報を提供してもらう。

3 情報提供可能人数

1 協力学術研究団体につき 6 名以内とする。なお、女性の人数については、次のとおりとする。

提供数	うち女性の数
1, 2 名	0 名以上
3 名	1 名以上
4～6 名	2 名以上

※ 第 4 次男女共同参画基本計画（平成 27 年 12 月 25 日閣議決定）において、平成 32 年（2020 年）に日本学術会議の会員及び連携会員に占める女性の割合を 30%とする成果目標が掲げられていることから、3 名以上の情報提供がある場合、女性の数を 3 割以上とすることとした。

4 協力学術研究団体から求める情報の範囲

- ① 氏名（漢字、ふりがな）
- ② 生年月日（年齢）、性別
- ③ 現職名
- ④ 都道府県（勤務地）
- ⑤ 専門分野（科研費の小区分から選択）

※より詳しい情報が必要な場合は、選考委員会（分科会を含む。）が調査を行うものとする。

5 協力学術研究団体への情報の求め方

- ① 会長から、協力学術研究団体の長に依頼する。
- ② 依頼に当たっては、あくまで「情報提供」であり、「推薦」でないことを注意喚起する。このため、協力学術研究団体は、情報提供される科学者本人の了解をとらないものとする。
- ③ 情報提供の主体は、協力学術研究団体とし、個人からの情報提供は認めない。
- ④ 候補者1名に対し複数の情報提供があっても選考過程に差異はない。
- ⑤ 現会員及び現連携会員は、自動的に選考の候補者となることから情報提供は不要である。
- ⑥ 協力学術研究団体は、提供される情報の取扱いに十分注意するとともに、外部への公表等を控えることとする。
- ⑦ 提出方法
内閣府共通意見等登録システムを利用する。
- ⑧ 依頼時期
会員・連携会員が推薦を行う時期と同時期に行う。

6 選考結果等

- ① 選考結果は、協力学術研究団体に対し、個別に報告しない。(発令の結果を確認いただくことになる。)
- ② 協力学術研究団体からの選考に関する問合せには応じない。
- ③ 就任意思の確認等を行う場合は、選考委員会(分科会を含む。)が科学者本人に対し個別に行う。

(参考条文)

○日本学術会議会則(平成17年10月24日日本学術会議規則第3号)(抄)

(会員及び連携会員の選考の手続)

第8条 会員及び連携会員(※特任連携会員を除く。)は、幹事会が定めるところにより、会員及び連携会員の候補者を、別に総会が定める委員会(※選考委員会)に推薦することができる。

2 前項の委員会(※選考委員会)は、前項の推薦 その他の情報に基づき、会員及び連携会員の候補者の名簿を作成し、幹事会に提出する。

3～6 (略)

(日本学術会議協力学術研究団体)

第36条 (略)

4 協力学術研究団体は、学術会議の求めに応じ、会員又は連携会員の候補者に関する情報等を提供することができる。

5～6 (略)